

新型コロナウイルス対策に例外があってはならない：  
“誰もが人命救助を受ける権利がある”-国連専門家-

ジュネーブ(2020年3月26日)：国連の人権専門家らは、公衆衛生や緊急措置だけで新型コロナウイルスの危機を解決することは難しく、その他の人権問題についても積極的に議論されるべきであると述べた。専門家らは「すべての人に例外なく人命救助を受ける権利があり、そしてその責任は政府にある。リソースや公的・民間保険が不十分であることを、特定の患者集団に対する差別を正当化する理由にしてはいけない」としている。「すべての人に健康の権利がある。障害を持つ人々、高齢者、マイノリティの集団、先住民族、国内避難民、極度の貧困状態にある人々、人口密度の高いところに住んでいる人々、居住型施設に住んでいる人々、身柄を拘束されている人々、ホームレスの人々、移民や難民、薬物依存の人々、LGBTやジェンダーの多様な人々を含め、あらゆる人々や集団が政府からの支援を受ける必要がある」。

「生物医学の進歩は、健康の権利を実現するために非常に重要である。しかし、あらゆる人権も同様に重要である。差別の禁止、参加、エンパワーメント、説明責任といった原則が、健康に関する政策すべてに適用されなければならない」。国連の専門家らは、世界保健機関（WHO）がパンデミックの抑制に向けて推奨する対策を支持した。国家に対しては、公衆衛生システムに関わるすべてのセクター（予防と発見から治療と回復までの全過程に関わるもの）に必要なリソースを供給するための断固たる行動を呼び掛けた。「しかし、今回の危機対応では、より多くのことが必要である。国家は、危機によって特に被害を受けやすい人々に支援が行き届くように、追加の社会的保護措置を講じなければならない」と専門家らは強調した。「その中には、既に社会的・経済的に不利な立場にあったり、さらなる介護の負担に耐えたり、性別による暴力のリスクが増大した中に暮らしている女性を含む」。

専門家らは、新型コロナウイルスの感染拡大と勇敢に闘う世界中の医療従事者に感謝と賞賛の意を表明した。「彼らは膨大な仕事量に直面し、自分の命を危険にさらしながら、リソースが不十分な場合は、耐え難い倫理的なジレンマに向き合うことを強いられている。医療従事者は政府やビジネス界、メディア、一般市民から可能な限りのサポートが必要である」。

専門家らは「新型コロナウイルスは深刻な世界規模の課題である」と言う。「しかしながら、これは普遍的な人権の原則を再び活性化するための警鐘でもある。これらの原則と科学的な知識への信頼は、フェイクニュースの流布や偏見、差別、不平等そして暴力に勝るべきである。我々は前代未聞の課題に直面している。この危機に際し、特にビジネス界は引き続き人権上の責任を負う。協調的な多国間の取り組みや、連帯と相互信頼があって初めて、我々はパンデミックを打ち負かし、回復力を高め、成熟し、団結する。新型コロナウイルスのワクチンが発明されたら、差別なく提供されなければならない。それまでの間は、人権に基づくアプローチこそが、公衆衛生に対する主要な脅威を抑制するのに効果的な、もう1本の道すじであることが既に知られている」と専門家らは締めくくった。

健康への権利に関する特別報告者 *Dainius Pūras*

女性への暴力に関する特別報告者 *Dubravka Šimonović,*

思想信条の自由に関する特別報告者 *Ahmed Shaheed*

性的指向とジェンダー・アイデンティティーに関する独立専門家 *Victor Madrigal-Borloz*

イランの人権状況に関する特別報告者 *Javaid Rehman*

高齢者によるすべての人権の享受に関する独立専門家 *Rosa Kornfeld-Matte*

水と公衆衛生への人権に関する特別報告者 *Léo Heller*

真実・正義・賠償・再発防止保証の促進に関する特別報告者 *Fabian Salvioli,*

マリの人権状況に関する特別報告者 *Alioune Tine*

少数者問題に関する特別報告者 *Fernand de Varennes*

人権と国際連帯に関する独立専門家 *Obiora Okafor*

スーダンの人権状況に関する特別報告者 *Aristide Nononsi*

人権と環境に関する特別報告者 *David R. Boyd*

現代奴隷制に関する特別報告者 *Urmila Bhoola*

アフリカ系の人々に関するワーキンググループ *Ahmed Reid (Chair), Dominique Day, Michal Balcerzak, Ricardo A. Sunga III, and Sabelo Gumede,*

発展の権利に関する特別報告者 *Saad Alfarargi,*

先住民族の権利に関する特別報告者 *Victoria Tauli Corpuz,*

民主的かつ公平な国際秩序の促進に関する独立専門家 *Livingstone Sewanyanan,*

障害者の権利に関する特別報告者 *Catalina Devandas Aguilar*

ミャンマーに関する特別報告者 *Yanghee Lee*

女性差別に関するワーキンググループ *Elizabeth Broderick (Vice Chair), Alda Facio, Ms. Ivana Radačić, Meskerem Geset Techane (Chair), Melissa Upreti,*

中央アフリカ共和国の人権状況に関する独立専門家 *Yao Agbetse*

1967年以降占領下のパレスチナの人権状況に関する特別報告者 *S. Michael Lynkthe*

ハンセン病患者とその家族への差別撤廃に関する特別報告者 *Alice Cruz*

拷問と非人道的扱いに関する特別報告者 *Nils Melzer*

人権と環境に関する特別報告者 *David R. Boyd*

カンボジアの人権状況に関する特別報告者 *Rhona Smith*

アルビニズムの人たちの人権の享受に関する独立専門家 *Ikponwosa Ero*

エリトリアの人権状況に関する特別報告者 *Daniela Kravetz*

表現の自由に関する特別報告者 *David Kaye*

ベラルーシの人権状況に関する特別報告者 *Anais Marin,*

多国籍企業と人権に関するワーキンググループ *Githu Muigai (Chair), Anita Ramasastry (Vice-chair), Dante Pesce, Elzbieta Karska, and Surya Deva*

集会結社の自由に関する特別報告者 *Clément Voule,*

反テロに関する特別報告者 *Fionnuala D. Ní Aoláin*

人権擁護者の状況に関する特別報告者 *Michel Forst*

国内避難民の人権に関する特別報告者 *Cecilia Jimenez-Damary*

恣意的拘禁に関するワーキンググループ *José Antonio Guevara Bermúdez (Chair), Leigh Toomey (Vice-Chair on Communications), Elina Steinerte (Vice-Chair on Follow-up), Seong-Phil Hong and Sètondji Adjovi*

失踪に関するワーキンググループ *Luciano A. Hazan (Chair), Tae-Ung Baik (Vice-chair), Houria Es-Slami, Henrikas Mickevičius, Bernard Duhaime,*

人種主義と人種差別に関する特別報告者 *E. Tendayi Achiume*

文化的権利に関する特別報告者 *Karima Bennouna*

ソマリアの人権状況に関する独立専門家 *Bahame Nyanduga,*

こどもの性的搾取に関する特別報告者 *Maud de Boer-Buquicchio*

英語原文 <https://www.ohchr.org/EN/NewsEvents/Pages/DisplayNews.aspx?NewsID=25746&LangID=E>

和訳文責：藤田早苗と翻訳チーム